

# みついし牛



## (基本情報)

種別	黒毛和種	出荷月齢	おおむね30カ月
血統	気高、藤良系	出荷体重	800kg前後
等級	A4、A5		
年間出荷頭数	700頭		
肥育牧場数	22戸(一貫生産)		
主な出荷先	東京食肉市場		



## (特徴)

- ◎牛肉の格付けとしては**最高ランクのA5とA4の枝肉**を「みついし牛」として市場に出荷することでブランドを確立。
- ◎環境変化によるストレスを牛に与えないため、牛がのびのび育つ一貫生産により肥育を実施。 **A5等級11の肉**
- ◎均一な肉質確保のため、全肥育牧場で配合飼料を統一している。



## JAみついしの取組

JAみついしでは、みついし牛の品質確保やブランドを守る取組を推進しています。

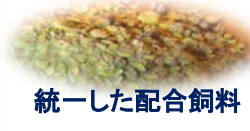
- ▶均一な肉質確保のため全肥育牧場で配合飼料を統一。
- ▶JA主催の肉牛の品質を競う「みついし牛枝肉共励会」を開催。
- ▶東京食肉市場で開催される肉質を競う全国コンテストでは、複数回入賞し、平成25年には最優秀賞を獲得。
- ▶産地販売認証制度を設け、認証店での「みついし牛」の販売など。



枝肉共励会で最優秀賞を受賞した畑端 博志さんの二男の俊樹さん



枝肉共励会表彰後の記念写真(中央が畑端博志さん)



統一した配合飼料

デントコーンや大豆かすなどが配合されています。

## みついし牛の生産に関わる方々にお話を伺いました

- ★和牛生産はいつ頃始めたんですか？  
昭和42年に島根県から導入したのが始まりです。
- ★なぜ東京食肉市場を出荷先に選んだのですか？  
全国から和牛が集まるこの市場で高評価を得ることができれば、みついし牛の生産が盛んになり、地域の重要な産業として確立できると考えたからです。
- ★東京食肉市場の品評会で入賞回数が多いですが、その秘訣はなんですか？  
農家同士仲がよいので、みんなでノウハウを出し合い日々、切磋琢磨しているからだと思います。
- ★牧場の規模はどれ位ですか？  
繁殖牛は53頭で肥育牛の年間出荷頭数は43頭程です。
- ★肥育をする上でのこだわりは？  
餌の粗飼料は町内産の稲わら、牧草を使用しています。不足した場合のみ道内産を使用していますが、輸入物の粗飼料は一切使用していません。それと健康な繁殖牛の維持のため、積極的に山地や林地への放牧を行っています。放牧中は、木葉や土を舐めたりして自然のミネラルを補給します。その影響なのか17産(出産回数)している牛もいます。



JAみついし 加野課長



一貫生産農家の畑端 博志さん

## …… 地元でみついし牛を購入するには？ ……

- ✓7月に新ひだか町蓬萊山公園で開催される「ほうらいさんまつり」
- ✓10月に新ひだか町JA静内の駐車場で開催される「農業まつり」
- ✓地元認証店(通年販売してます)など



蓬萊山まつり



日高管内の温泉施設でつくる「ひだか元気グルメ研究会」では、H26年1月21日から3月31日まで、みついし牛など地元日高産の厳選肉を使った新メニュー「ひだかジャストミート膳」を管内6施設で提供。スタンプラリーも実施しています。



詳細は、「ひだか元気グルメ研究会」のHPで